

※ 網掛けのない部分が計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童生徒像含む）

人間尊重の教育を基盤に自ら学び，自ら考え，主体的に判断して生きていくことのできる，心身ともに健康で，心豊かな，たくましい児童を育成する。

【1】明るく元気な子ども 【2】よく考え学習する子ども 【3】心豊かで思いやりのある子ども

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

「元気いっぱい 夢いっぱい 笑顔あふれる西が岡」を旨とした学校づくり

教育目標の達成を目指し，子どもの自主性を育て，希望に満ちた明るく，楽しい学校づくりをするために，全職員が和と協力，熱意，そして人間尊重の精神を基盤に『生きる力』を育む教育に取り組み，活力に満ちた特色ある学校経営を推進する。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 一人一人のよさを認め，居がいのある学校・学級づくり，自主性を育てる教育活動の展開に努める。  
(学級経営の充実)
- (2) 授業の充実と学習習慣の定着を図り，学ぶことの楽しさや成就感を体得させ，自ら学ぶ態度の育成と基礎・基本の確実な定着に努める。  
(学習指導の充実)
- (3) ○情操豊かな教育環境と道徳教育の充実を図り，「生命や人権を大切に作る心」「思いやりの心」を育み，心豊かでたくましい子どもの育成に努める。  
(心の教育の推進)
- (4) 全教職員の共通理解のもと，児童との信頼関係を深め，日常の指導と家庭との連携を通して，規範意識の醸成と基本的生活習慣の確立に努める。  
(児童指導の充実)
- (5) 進んで運動に親しむ体育指導と，健やかな体を育む食育・保健指導の充実を図り，健康・体力の向上に努める。  
(体力の向上と保健安全教育・食育の充実)
- (6) ○学校園としてカリキュラムを見直し学習や活動の交流を図り，小中一貫教育を推進する。  
(小中一貫教育の推進)
- (7) 常に自己の資質向上に努め，子どもや保護者から信頼される教職員集団を目指す。  
(教職員の資質の向上)
- (8) 家庭や地域との連携と情報発信の充実に努め，地域とともにある学校づくりの推進に努める。  
(家庭・地域との連携・地域とともにある学校づくり)

[宝木地域学校園教育ビジョン] 『「いきいき宝木」心豊かな宝木っ子の育成をめざします』

- 豊かな心の育成
- ・ 規範意識の育成
- ・ 生命を尊重し相手を思いやる態度の育成
- ・ 自然，文化，芸術に親しむ感性の育成

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- (1) 学校運営  
体験活動や道徳教育を通して豊かな心と自主性を育み，授業の充実を図り学ぶことの楽しさを実感する教育の推進に努める。
- (2) 学習指導  
分かる授業を展開し学習意欲の向上に努め，家庭学習の習慣化を図り，発達段階に応じた学習の定着に努める。
- (3) 児童生徒指導  
○道徳教育や学級経営の充実を図り，「明るいあいさつ」「正しい言葉遣い」「決まりを守る態度」の育成を具体的な活動を通して推進する。
- (4) 健康（保健安全・食育）・体力  
体育・保健・食育の指導の連携を図り，健康・体力の向上や運動技能の習得に進んで取り組む児童の育成に努める。

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組の方向性」には、A 拡充 B 継続 C 縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
教育全体の状況	<p>A1 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「私は今の学校が好きです」→児童の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 学校行事に児童が自主的・主体的に取り組む場を設定し、教師による適切な指導・支援・助言をする。</p> <p>② 児童の学習意欲を高める授業の工夫をする。</p>	B	<p>【達成状況】 94.8 達成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事や児童会活動において、児童が活躍できる場を設定し、指導できた。</li> <li>学力向上の取組が全教職員の共通理解のもと、推進できた。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き児童が自主的・主体的に取り組める場を設定していく。</li> <li>児童のよさを認め、自己肯定館を育てる。</li> </ul>
	<p>A2 教職員は、組織の一員として誠実で熱心に教育にあっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「先生方は大切なことを熱心に指導してくれる」→児童の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 「分かる・できる」授業づくりのために導入や指導方法を工夫する。</p> <p>② 学習の進み具合を確認、よさを認めた言葉かけやつまずきに応じた一人一人への支援を工夫し、個別支援の充実を図る。</p> <p>③ 授業改善チェックリスト・板書チェックリストの活用を図る。</p> <p>④ 朝の学習の効果的な活用と、学びが分かるノート指導に努める。</p>	B	<p>【達成状況】 97.3 達成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個別支援の充実により児童は意欲的に学習に取り組んでいる。</li> <li>職員会議後児童指導情報交換会を行い児童について共通理解するようにしている。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童一人一人の学習の様子やよさについて学年会などで共通理解し、きめ細やかに個別に支援する。</li> <li>特別支援について校内研修を行いさらにきめ細かい児童支援や児童理解ができるようにしていく。</li> </ul>
	<p>A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は授業と生活のきまりを守って生活している」→児童の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 全職員共通理解のもと、朝会・全校集合で全児童に話をしたり、各学級において指導したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5分間休みの過ごし方</li> <li>授業の始まりの時刻</li> <li>教師が率先して早めに動く</li> </ul> <p>② 「よい子の一日」の周知徹底を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>廊下の歩行（意識づけの工夫）</li> <li>終業のあいさつと次時の準備</li> <li>遊び方の共通理解</li> <li>清掃中、清掃後の指導の徹底</li> </ul> <p>③ 生活目標を活用し、スモールステップで目標をアップさせるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>良かった点を朝会で賞賛する。（週番）</li> </ul>	B	<p>【達成状況】 81.7 達成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な取組により教職員・児童共にきまりやマナーに対する意識が高まっている。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5分間の休み時間の再確認をする。（教職員の共通理解を図る。→トイレ・水飲み・移動の時間）</li> <li>廊下の時計の設置</li> </ul>

<p>A4 教職員は、分かる授業やきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「教職員は分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導をしている」→教職員の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 学校課題を決め、全職員共通理解のもと研究を進める。 ・算数科・学力向上プロジェクトの研究</p> <p>② 授業研究を行い、指導方法の工夫改善や指導力の向上を図り、きめ細かな指導を実施する。 ・一人一授業公開</p> <p>③ 具体的な学習の取組の状況を保護者や地域に発信し、理解を深める。 ・チャレンジワークの実施 ・学びの広場の発信 ・西が岡小「家庭学習のすすめ」の配付 ・学年学級懇談会を活用</p>	<p>【達成状況】 100.0 達成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>算数の授業では課題を意識し、キーワードや友達の意見を参考に本時のまとめをすることができるようになってきた。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>朝の学習の時間の「計算大相撲」などを活用し各学年で重点的に学習させる内容を精査し、学力の定着を図る。</li> <li>学校課題の授業研究に継続して取り組む。</li> </ul>
<p>A5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「先生はいじめが許されないことを熱心に指導してくれる」→児童の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 教育相談を年間2回実施し、児童の実態の把握と早期発見に努める。</p> <p>② あいさつ運動を実施し、良好な人間関係づくりを進める。</p> <p>③ 人権週間、いじめゼロ月間、いじめゼロ集会を実施し、意識の啓発に努める。 ・授業参観の時にビデオやDVDで紹介する。 ・保護者や地域が参加する機会を作る。</p> <p>④ 学校の取り組みを、学校便りやHPなどで地域や保護者に積極的に発信する。</p>	<p>【達成状況】 97.6 達成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教職員と児童は達成されている。</li> <li>全校から人権標語を募集し選ばれた標語を校舎内外に掲示することにより人権への意識が高まってきている。</li> <li>保護者、地域住民には学校の取組が十分に伝わっていない。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学年、学校便りの紙面を工夫して、いじめ防止に関する学校の具体的な取組や児童の姿を載せるなど、保護者・地域住民への情報提供に取り組む。</li> <li>いじめ防止に関する配布資料を、HPにアップし発信する。</li> <li>いじめゼロ集会を保護者にも公開する。</li> </ul>
<p>A6 日課、授業、学校行事など教育課程は、適切に実施されている。</p> <p>【数値指標】 各行事終了後や年度末にアンケートを実施し、次に生かされたか。→その都度実施</p>	<p>① 行事の終了後や年度末にアンケートを実施し、可能なことはすぐに改善したり、次回・次年度に生かしたりする。</p> <p>② 行事の際に、タイミングをとらえて適切に保護者や地域へ情報を発信するとともに、アンケートを実施して生かせるようにする。</p>	<p>【達成状況】 100.0 達成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各行事終了後に教職員にはアンケートを実施し、改善点を次に生かすことができた。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音楽朝会や親子学習等の機会に、保護者にもアンケートを実施し、次回に生かせるようにする。</li> </ul>
<p>A7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、「地域の学校づくり」が進められている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、学校便りや学校公開などで積極的に情報を発信している」→保護者の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 「オープンスクール」を含め年間に4回以上学校公開を実施する。 ・集会や音楽朝会の公開</p> <p>② 積極的に、保護者や地域へ学校便り・ホームページ等で情報を発信する。 ・学校便り、学年便り：月1回以上発行 ・HPの更新：月1回以上</p>	<p>【達成状況】 98.5 達成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校便りの発行やHPの更新を月1回以上行い、情報を発信できた。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き情報を発信するとともに、学校の様子を公開したり、学校へ参加する機会を設けたりする。</li> </ul>

教育活動の状況	<p>A8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った取組が推進されている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、家庭、地域、企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」→保護者の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 行政や企業と連携した授業を実施する。(社会科、総合的な学習の時間、学級活動、各種体験活動等)</p> <p>② 「魅力ある学校づくり地域協議会」と連携して、学校運営の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全ボランティア</li> <li>・放課後子ども教室</li> <li>・体験活動</li> </ul> <p>③ 積極的に家庭・地域へ情報を発信する。</p>	<p>【達成状況】 95.0 <b>達成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政や企業との連携により意欲的に学習に取り組む姿が見られた。</li> <li>・ 地域協議会と連携してふるさと学習や農業体験活動を行うことができた。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭、地域、企業などとさらに連携しながら体験的活動を充実させる。また、情報発信の際は「見やすい・分かり易い」発信を心がける。</li> <li>・ P T A親子活動についても家庭・地域・企業等と連携や協力を図っていく。</li> </ul>
	<p>A9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、清掃が行き届き、学習しやすい環境である」→保護者の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 清掃指導の充実(西岡タイム)と施設設備の維持管理を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃強化週間を実施</li> <li>・短縮日課の際の自主清掃</li> </ul> <p>② 校内緑化(花はなタイム・教材園)を推進し、学習にふさわしいよりよい環境づくりに努める。</p>	<p>【達成状況】 95.7 <b>達成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 縦割り班を中心によく清掃されていた。</li> <li>・ 校庭の遊具が設置され、充実が図れた。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き学習にふさわしい環境づくりに努める。</li> <li>・ 縦割り班活動等を通じて清掃の仕方を指導していく。</li> </ul>
	<p>A10 児童は進んであいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 「時と場に応じたあいさつ」→児童の肯定的回答90%以上</p>	<p>① あいさつ強化週間や中学校との合同あいさつ運動を継続しさらに意識化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・代表委員によるあいさつ運動の実施</li> <li>・あいさつ標語募集</li> </ul> <p>② あいさつがよくできている児童を生かし、意識化を図り集団として伸ばす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「あいさつ大賞」の継続</li> </ul> <p>③ 学校便りや懇談会で保護者や地域に協力を呼びかける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭での習慣化</li> </ul> <p>④ 各学級で丁寧語によるあいさつを実行する。</p>	<p>【達成状況】 91.9 <b>達成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 代表委員による「あいさつ運動」は、あいさつに対する意識の高揚に効果的だった。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の方に向けてもあいさつができるように工夫して取り組む。</li> <li>・ 児童の主體的な取り組みになるよう継続して指導する</li> </ul>
<p>A11 児童は、正しい言葉づかいをしている。</p> <p>【数値指標】 「時と場に応じた言葉づかい」→児童の肯定的回答の85%以上</p>	<p>① 毎日の授業・生活において、丁寧な言葉を使う指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「～さん」と呼ぶ指導</li> <li>・他の教室や職員室の入り方の指導</li> </ul> <p>② 学年便り・学校便りや懇談会等で、家庭や地域に協力を呼びかける。</p>	<p>【達成状況】 77.7 <b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正しい言葉づかいについての意識が高まってきたが、時と場に応じた言葉づかいが十分にできていない。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時と場に応じた言葉づかいができるよう職員室の入り方のように、具体的に指導し徹底を図る。</li> <li>・ 正しい言葉づかいによる話し方のサンプルを職員室や教室に掲示する。</li> </ul>	

	<p>B2 教職員は、心の教育と特別活動の推進に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 教職員アンケートの「心の教育と特別活動の推進に取り組んでいる」→教職員の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 豊かな感性の育成を目指した読書活動の推進。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアによる読み聞かせ</li> <li>・読書週間の活用</li> <li>・図書館司書による選書の支援</li> </ul> <p>② 自ら読書する時間の確保と指導の工夫を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書ファイルの活用</li> <li>・朝の読書の活用</li> <li>・貸し出し用の図書館バックの活用</li> </ul> <p>③ 道徳は、人権や命について、保護者参加など工夫して授業参観等で公開する。</p> <p>④ 小中連携した「宮っ子心の教育の」推進</p> <p>⑤ 「わたしたちの道徳」を年計との関連を図って積極的に活用する。</p>	<p>【達成状況】 100.0 達成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせや、メロディーお話し会・図書委員会体験（おかザニア）など様々なイベントにより本好きな児童が増えている。</li> <li>・「わたしたちの道徳」副読本を活用し、保護者とともに心の教育に取り組み児童にとって心をたがやす機会になった。</li> <li>・小中合同のあいさつ運動や児童生徒指導強化連絡会で中学校の道徳授業全クラス公開など、小中連携した心の教育の推進が図られた。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の活動や休み時間の図書館の活用を図り、静かに本を読んだり選書したりできるようにする。</li> <li>・他機関との連携して「命の授業」や「人権の授業」を実施し人権感覚を高めていくようにする。</li> <li>・「わたしたちの道徳」を活用し、親子で一緒に考えたり話し合ったりできるようにする。</li> <li>・親子で学習する機会を設ける。</li> </ul>
	<p>A12 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。</p> <p>【数値指標】 「積極的に運動している」→児童の肯定的回答の85%以上</p>	<p>① 児童会活動・学校行事などにおいて、縦割り班活動の運動を積極的に行う。</p> <p>② 積極的な活動にするために、児童の意見を生かし、活動内容を工夫する。</p>	<p>【達成状況】 90.5 達成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西岡タイムでの外遊びや体力作り月間を中心として、多くの児童が運動していた。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度に引き続き、西岡タイムを活用し縦割り班活動や学級で一緒に運動できるよう工夫して実施していく。</li> <li>・体育の授業と関連させて、児童が自主的に運動できるように工夫していく。</li> </ul>
健康・体力	<p>A13 児童は、栄養バランスを考えて食事をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「好き嫌いなく給食（食事）を食べている」→保護者の肯定的回答90%以上</p>	<p>① ランチルームで食育の話しをしたり、生活チェックシートを活用して個別指導（担任・養護教諭・栄養士等）をすすめたりする。</p> <p>② 「おべんとうの日」には、学年に応じて栄養のバランスを配慮した献立が立てられるように支援する。</p> <p>③ 栄養バランスを意識して食事ができるように、家庭との連携を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「親学」に「食育」をとり入れる。</li> </ul>	<p>【達成状況】 69.1 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の回答は目標数値からかなり低いものの、教職員や児童の回答状況は改善されており、全体的な数値は目標に近づいている。</li> <li>・給食では好き嫌いを克服するよう努力する姿が見られるものの、家庭での食生活になかなか生かされていない。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭で実践できる栄養バランスに関する話やレシピを給食便りで発信したり、お弁当の計画づくりや夏休みのレシピづくりなど家庭で実践する場をつくる。</li> </ul>

	<p>B1 児童は、交通のきまりを守って登校している。</p> <p>【数値指標】 「きまりを守って登校している」→児童の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 月1度の登校指導や一斉下校の際に、目標を決めて交通指導を実施し、登校班への個別支援をする。</p> <p>② 交通安全教室等で、交通安全について徹底を図る。</p> <p>③ 安全ボランティアをつのり、家庭・地域と協力して、登下校の見守りをする。</p>	<p>【達成状況】 94.6 達成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全体的に肯定的割合が増加しており、目標も達成しているものの、児童と他の回答者との認識に差があり、児童の安全な行動の実践が課題となっている。</li> <li>登下校の様子は改善されつつあるが、列の作り方など十分でない。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一斉下校での指導において、段階的に丁寧ルールを徹底させていくことで、児童の安全な行動の実践を図っていく。</li> </ul>
	<p>B4 体力チェックや生活アンケートを実施し、個別指導をしている。</p> <p>【数値指標】 「体力チェック等を実施し、個別に指導している」→教職員の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 体力チェックや生活アンケートを実施し、個別指導に生かす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外遊びの奨励と日常的な運動による体力づくり</li> <li>歯磨き指導</li> <li>姿勢の改善と視力向上に関する意識づけ</li> </ul>	<p>【達成状況】 100.0 達成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全体的な傾向としての体力は申し分なく向上している。</li> <li>よい姿勢や視力に関する意識の向上がみられるようになり、以前よりも児童の健康への意識が高まっている。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>体力作りを引き続き実施していくとともに、よい姿勢や視力の向上につながる取り組みを充実させていく。</li> </ul>
	<p>A14 児童は、進んで学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は、分かりやすく発表するなど、積極的に学習している」→児童の肯定的回答85%以上</p>	<p>① 様々な学習形態を積極的に取り入れた授業を工夫する。</p> <p>② 「話し方、聞き方」の掲示物を作成し活用を図り、分かりやすく発表する力を育てる。</p>	<p>【達成状況】 88.9 達成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な学習形態や、ペアで、3人で、グループで、話し合う活動に進んで参加できるようになった。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学年に応じた話し方マニュアルを作成し児童の目に入り易いようノートなどに貼って活用する。</li> </ul>
学 習	<p>A15 児童は落ち着いて学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 「授業中、落ち着いて学習している」→児童の肯定的回答85%以上</p>	<p>① 学習の決まりについて学校全体で共通の取り組みを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業開始や終了時の時刻の遵守</li> <li>あいさつを遵守する。</li> <li>正しい言葉遣いの奨励</li> </ul> <p>② 「聞くこと」を重視し、約束を共通理解の上、根気強く継続指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話し手を見て、話に耳を傾ける。</li> <li>最後まで黙って聞く。(質問は最後にする)</li> </ul>	<p>【達成状況】 80.4 達成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業に遅れないようにする児童が増えた。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の正しい言葉使いについて学年に応じて重点を絞って指導していく。</li> </ul>
	<p>B5 児童は、宿題や習ったことを復習するなど、すすんで学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は授業で習ったことを復習するなど自主的な学習に取り組んでいる」→児童の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 西が岡小「家庭学習のすすめ」を活用し、学年に応じた家庭学習の習慣化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音読と発達の段階や個人差に応じた宿題の徹底</li> </ul> <p>② 学年に応じた自主学習の進め方の指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習の時間・やり方・内容の提示</li> <li>学級懇談等での保護者への啓発</li> </ul>	<p>【達成状況】 83.7 達成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音読、宿題にきちんと取り組もうとする児童が増えた。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3年生以上では、学年当初に自主学習の仕方やノートの使い方を指導し、自分から学習に取り組む姿勢を身に付けさせていく。</li> </ul>

本校の特色・課題等	B3 学校行事などにおいて、縦割り班活動を積極的にやっている。 【数値指標】 教職員アンケートの「縦割り班活動を積極的にやっている。」→教職員の肯定的な回答90%以上	① 異学年の交流活動を上級生がリーダーになり主体的に行う。 (花はなタイム・遊友タイム・清掃活動・児童会集会活動等) ② 班対抗のゲームや活動を取り入れて、活動に変化をもたらすように工夫する。(遊友タイム、運動会) ③ 幼保小中連携の充実を図る。 (近隣保育園や中学校との交流)	B	【達成状況】 96.0 達成 ・ あらゆる場面において上級生が活躍し協力して活動できた。 ・ 運動会に縦割り班で行う種目を取り入れたが児童間の協力が見られ効果的だった。 【次年度の方針】 ・ 継続して高学年がリーダーとなる活動の場を推奨する。
	B6 地域人材を活用した教育活動を推進している。 【数値指標】 教師アンケートの「地域人材を活用した教育活動の推進」→教師の肯定的な回答90%以上	① 出前授業や地域協議会等を活用し、さらに充実した体験活動を推進する。 (ふるさと教室、読み語り、学習会、農業体験、栽培活動、ミシンボランティアなど) ② 地域コーディネーターを活用して、活動内容の事前打ち合わせを行い、充実を図る。	B	【達成状況】 100.0 達成 ・ 地域、家庭と連携しながら充実した体験活動ができた。 【次年度の方針】 ・ 年度当初、各学年でどのような内容で学習ボランティアが必要か洗い出し計画的に協力体制をつくっていく。

〔総合的な評価〕

- ・ 「授業や生活の決まりやマナー」については、児童・教職員・保護者・地域住民ともに肯定的割合が大幅に向上した。次年度も継続的に取り組んでいきたい。
- ・ 「いじめ対策」については、児童・教職員と、保護者・地域住民とに意識の差があり、学校の具体的な取組や児童の姿を積極的に発信して、地域・保護者と協力して取り組んでいきたい。
- ・ 「あいさつや言葉づかい」については、改善傾向が見られるものの依然として低い傾向にある。地域においてもあいさつや正しい言葉づかいができるよう、保護者や地域住民と協力して改善していきたい。
- ・ 「家庭学習」への主体的な取組については、校内での共通理解のもと取り組み、児童、教職員ともに肯定的回答が大幅に改善された。家庭と十分連携して取り組んでいけるよう工夫する必要がある。
- ・ 経年比較において、肯定的回答の割合が増えた項目が大変多かった。今年度の取組を継承し、引き続き工夫して指導していきたい。90%以上の肯定的回答が得られた項目においても、残りの10%をどのように改善していくかを検討していきたい。

6 学校関係者評価

- ・ 放課後子ども教室の様子を見ていると、年度後半から1年生も落ち着いた生活ができてきており、学習の習慣がついてきて、進んで宿題に取り組めるようになった。
- ・ 児童は、交通の決まりを守って登校しているとの回答率が高いが、交通安全については過信があるといけない。ヘルメット着用も繰り返し声をかける必要がある。横断歩道は保護者が手を挙げて見本を示すとよい。
- ・ 地域全体でにこやかにあいさつできる地域は防犯意識が高い。子どもも大人も元気な挨拶ができるようにしたい。
- ・ 子どもの見守りや学校の支援においては、保護者・地域が協力して取り組んでいく必要がある。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

- ・ 学校・家庭・地域がさらに連携し、時と場に応じたあいさつや言葉遣いなどができるように指導し、人との関わりを大切にしながら生活でき、正しく判断・行動できる児童の育成に努める。
- ・ 基礎・基本の確実な定着のため、学業指導を徹底し、学習に集中できるよう家庭と連携して家庭学習の習慣化を図る。
- ・ 地域や保護者への積極的な情報発信・公開・評価を行うことにより、さらなる学校教育の改善に生かす。